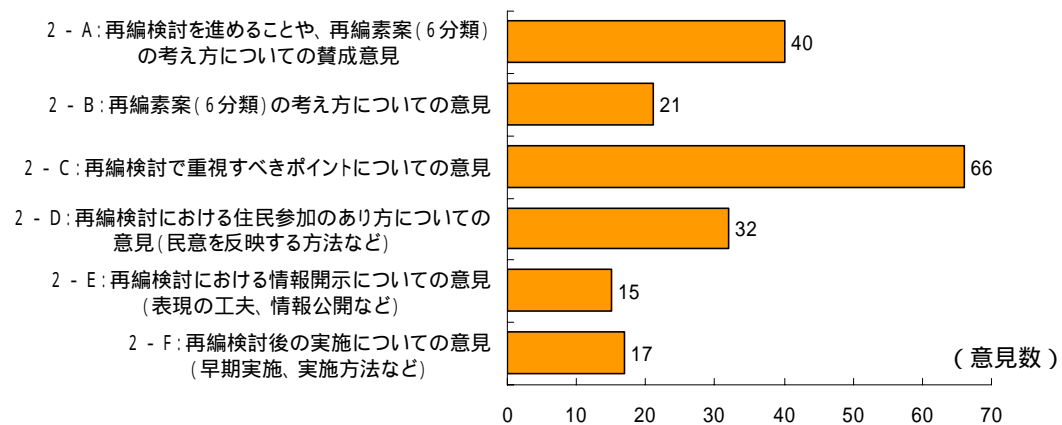


問2：市が提案する「新たな道路網（再編素案）の考え方（6分類）」についての意見

問2：市が提案する「新たな道路網（再編素案）の考え方（6分類）」についての意見

2 - A	再編検討を進めることや、再編素案（6分類）の考え方についての賛成意見	40票
2 - B	再編素案（6分類）の考え方についての意見	21票
2 - C	再編検討で重視すべきポイントについての意見	66票
2 - D	再編検討における住民参加のあり方についての意見（民意を反映する方法など）	32票
2 - E	再編検討における情報開示についての意見（表現の工夫、情報公開など）	15票
2 - F	再編検討後の実施についての意見（早期実施、実施方法など）	17票



2 - A	再編検討を進めることや、再編素案（6分類）の考え方についての賛成意見	40票
-------	------------------------------------	-----

再編検討を進めることや、再編素案（6分類＝パンフレット9頁）については、主に次のような賛成意見をいただいた。これらの意見を踏まえ、パンフレットに示す検討の進め方に従い、着実に道路網再編検討を進めていく。

再編検討を進めることや、再編素案（6分類）の考え方についての主な賛成意見

- ・分類することによってより細やかな地域の状況に対応した整備計画が行えると思うので大変よい案だと思う【12人】
- ・未着手路線については、整備が必要な区間のみ整備し、必要性が低い道路は廃止を考えるべきである【9人】
- ・周辺の土地利用状況などを考慮し、既存の道路網を活用、代替できる区間は計画を廃止すべきである。【2人】
- ・産業、都市構造が大きく転換している現在、路線廃止を含めた道路網の再編は説得力があり賛同できる【2人】
- ・交通の円滑化により交流が活発になり、経済活性化や企業誘致にも有効であるため、主要幹線道路の見直しを進めた方がよい

等

再編検討を進めることや、再編素案(6分類)の考え方についての賛成意見

意見	人数
道路計画は、大変時間も有するし、環境の変化も含め慎重に検討する必要があると思う。分類することによってより細やかな地域の状況に対応した整備計画が行えると思うので大変よい案だと思う。	12
数十年も放置されている路線については思い切って廃止を考えるべきだ。(必要性が低い計画道路は大いに廃止すべきである)。	6
未着手路線のうち、どうしても整備が必要な区間のみ整備すべきだと思う。予算は限られているし、計画後、整備していないことにより問題が生じた回数が多い路線から整備する。	3
6つの課題のうち1つでも多くの課題をクリアしてもらいたい。	2
周辺の土地利用状況などを考慮し、既存の道路網を活用・代替できる区間は計画を廃止すべき。	2
再編をするのは非常に有意義なことである。環境首都宣言をした北九州市として、後世に恥じない、後世の人達が「先人の知恵には敬服する」と業績を評価する内容に計画を十分に検討し、再編することを要望する。	2
産業・都市構造が大きく転換している現在、旧来道路網の路線廃止を含めた再編は説得力があり賛成できる。道路整備の遅れは、都市機能低下に直結し時代から取り残される。従って、道路整備の優先順位を明確にすることが必要である。	2
大変期待したい。市民の目線で進めていただきたい(税金の無駄遣いにならないように)。	2
都市計画道路の未着手路線の中には、性格的に区画内道路に近いものが見受けられる。これらについては、廃止を含めて見直した方がよい。	1
北九州市の周辺地との交通交流は北九州地域の経済の活性化、特に新たな商工企業の誘致促進に有効であるため、主要幹線道路の見直し変更をしたほうが良い。	1
未着手路線の詳細な計画の内容は、提示された資料からだけではわからないが、交通量の少ない郊外における路線の整備は必要性がなく、環境保全の面から見ても見直しが必要である。	1
北九州は港等も多く、トラック等の交通が多いので、産業交通と日常交通を分化するのはいいことだと思う。	1
建築制限の規制等、未着手路線については、市民に負担がかかっている所が見受けられる。幹線性が低い都市計画道路については早急な見直しが必要であると思う。	1
財政状況を考慮すれば、取捨選択は避けられない。思い切った決断が必要である。特に「廃止区間」については早急に制限を解除することが必要である。	1
廃止を含め見直しを行うことは、必要な道路を早期に充実したものにする観点から見ても得策だといえる。	1
やっとかという感じ。	1
北九州の発展のために頑張ってください。	1

2 - B 再編素案（6分類）の考え方についての意見

21票

再編素案（6分類）の考え方については、主に次のような意見をいただいた。今回のパンフレットでは概要のみを提示したためわかりにくい部分もあったことから、今後、これらの意見への対応を図りながら再度考え方を整理し、再度わかりやすく公表していく。

再編素案（6分類）の考え方についての主な意見

- ・「長期的に取り組む区間」の位置づけ等がどのようになるか疑問【2人】
- ・個別に検討を進める区間は検討メニューを提示する必要がある【2人】
- ・幹線性だけでなく、様々な視点（人・まち・車）からの見直しが必要【2人】
- ・わかりづらいので6分類から4分類ぐらいに集約すべき【2人】

等

■再編素案(6分類)の考え方についての意見

該当分類	意見	人数
①	早急に強化すべき区間として位置づけられた区間は、事業中の道路を差し置いてでも整備を進めるべきだ。	1
③	長期的に取り組む区間の性格、位置づけ、都市計画上の制約条件等どのようになるのか疑問。	2
③	長期的に取り組む区間に関して道路の幹線性が高いにも関わらず、構想としてのみ位置づけるだけでは、地域住民の不満も出てくるため、都市計画道路の検討を行う地域と廃止する地域は明確にすべきである。	1
③④	6分類の「④長期的に取り組む区間」は「⑤個別に検討を進める区間」に含めるべき。幹線性が高い道路とは、「交通量が多く、都市機能の活性化・利便向上に重要な道路」であるが、③は構想だけの将来道路であり、現実に着工が迫られている幹線道路に含めるべきではない。再編素案に多くの可能性を残す主旨は理解できるが、切り捨てて⑤と統合する変更も必要かと思う。	1
③④	都市計画道路の事業手法(スタミナ面)が現行制度のままならば、当該分類手法は適切と考えられる。このとき、③④の選定が最大の課題と思われるが、若松区や門司区の一部の路線を除き、そう簡単に位置づけられるものではないと懸念される。特に本市のように政令市でありながら、市の魅力が低迷しつつある状況下においては、都市計画道路のリーディングプロジェクトとしての機能は極めて高いと思われる。都市政策が守りの姿勢に入らないことを願う。	1
④	問題を先送りするだけの「計画継続」は採用すべきではない。	1
⑤	個別に検討を進める区間の検討において継続・廃止の両面を含め、どのような検討メニューがあるのか示していく必要があると思う。	2
⑤	計画廃止も含めた未着手路線の見直しには賛成だが、幹線性の高低のみをもって対応を決めるという点は自動車交通処理に偏った考え方のように思え問題を感ずる。例えば幹線性は低くても歩行者交通や公共交通の利用・運行、まちづくりの観点等から必要となる道路もあるのではないかと。	2
⑤	「整備(方法検討)すべき路線については、用地のみ先行取得することが必要である。	2
⑥	都市計画道路は他の事業(河川事業や、市民開発など)に与える影響が大きいので、継続区間と廃止区間の検討は早急に行うべき。	2
①～⑥	6分類は、それぞれの考え方がわかりにくいので4分類ぐらいに集約すべき。	2
①～⑥	建設局が行っている生活幹線道路整備事業(区画道路)との道路網の調整を図るべきではないか。	1
①～⑥	道路の幹線性の検証の際には、何を基準にして幹線性が高い、低いを判断するのか？補助幹線道路、区画道路でも、交通量が多ければ幹線性が高くなるのか？また、主要幹線道路、幹線道路において、交通量が少なくても幹線性が高いとなるのか？もし後者なら、幹線性が高いと判断した場合も、廃止を含めた見直しを行うべき。	1
①～⑥	道路の重要性を考えて見直しを進めてもらいたい	1
①～⑥	一度廃止した路線でも必要性が生じれば、その際に堂々と都決すればよい。	1
①～⑥	分類ごとに今後検討が進む中で、作業スケジュール(時期を切ったものではなく段階的のもの)が提示されるとよりわかりやすくなる。	1
①～⑥	6分類の分類内容が、整備時期によって分類しているのか、検討のスタンスで分類しているのかよくわかりません。幹線性が高い方は「①早期に強化…」「③長期的…」と整備時期のイメージが強く、幹線性が低い場合は「④計画を継続…」「⑤個別に検討…」「⑥廃止をすすめる」と、スタンスでの分類のように感じる。	1

注)①早期に強化すべき区間 ②実施に向けて検討すべき区間 ③長期的に取り組む区間 ④計画を継続すべき区間  
⑤個別に検討を進める ⑥廃止を進める区間

15

2 - C 再編検討で重視すべきポイントについての意見

66票

再編検討で重視すべきポイントとして、以下に示すように、環境やバリアフリーなどのまちづくりの観点も含めた幅広い視点からの検討が必要であることと、再編検討やそれを踏まえた道路整備といった一連の取り組みについてのスピードをあげることが指摘された。これは、パンフレット4頁に示す「都市計画道路網の6つの課題」に通じるものであることから、今後の検討の中で十分に配慮していく。

再編検討で重視すべきポイントについての主な意見

- ・様々な視点から十分に検討し、素早い整備をして欲しい【15人】
- ・まちづくりの方向性（交通環境、バリアフリーなど）との整合を優先した方がよい【14人】
- ・環境重視の道路づくりをして欲しい【7人】
- ・公共交通の利用促進と連携した計画をして欲しい【6人】
- ・当初の計画決定時とかなり違いがあるため、見直しが必要【5人】

等

■再編検討で重視すべきポイントについての意見

該当分類	意見	人数
①	様々な視点から本当に必要かそうでないかをしっかり検討していただき素早い整備をお願いしたいと思います。	15
①	まちづくりの方向性と整合を優先した方がよい。特にまちづくりの方向性は、交通環境の整備やバリアフリーがあるので急いでやって欲しい。	14
①	現在北九州市が市政の中で大きく掲げ、世界に誇る「環境首都宣言」との整合は今回の再編の中でどのように整合されるのでしょうか。環境重視の道路づくりをして欲しい。	7
①	公共交通の利用促進との連携を考えて道路計画をして欲しい。	6
①	当初の計画決定時の想定とかなり違いがあるため、今後の都市構造(人口、産業等)を考えて、必要性の低いと思われる道路は廃止するなどの見直しが必要。	5
①	都市高速の料金値下げも一つの手段ではないか？	2
①	人と自転車がゆっくり走れる道路環境をつくって欲しい。環境資源を再認識できるような計画を立案してほしい。	2
①	以前から都市計画道路網の見直しの必要性を感じており、今回の取り組みには賛同します。ただ、「見直しを縮小方向のみ」といったスタンスで検討されているようなイメージがあり残念に感じます。また、廃止する道路があるということは、その道路が担うべき機能を代替する新たな道路計画が必要となる場合もあるのではないのでしょうか。	2
①	既設道路にて、新道路構造令に適合するように幅員の拡張及び交通環境の改善とバリアフリーの整備促進、交差点を改良して交通渋滞の緩和など、既設で不便な箇所改善の実施。	1
①	北九州市は本州と九州との拠点に位置し、交通の隘路となっているため近年にいたるまで通過交通の処理に重点が置かれ、それなりに効果をあげることができたが、都市機能を向上させる配慮に欠けていたことは否めない事実である。今後の対応策として、「道路網の適正な機能分担」の観点から北九州市に含まれる各区を連結するための立体交差を含めた環状道路の整備が不可欠であり、適正な計画により極力信号の数を低減させた道路整備が可能であると考えられる。	1
①	高度成長期に建設された道路は、今後ますます維持・補修が必要となる。予算が潤沢であれば話は別であるが、現在のような緊縮財政の下では、道路新設にかけると予算も当然見直しが必要である。「攻めの道路計画」から「守りの道路計画」に少し軸足を移す時期ではないだろうか。	1
①	子供から老人まで安心して市街地に住めるようにするには、歩道の整備、また、気温を上げないために植樹をたくさん設置して、大きな道路をつくっても、のどかたと感じさせることが大事。	1
①	社会状況の変化に対応して、都市計画道路の建設について検討し、優先度を決めるのは非常に良いと思う。その際は、基準を明確にする必要があり、また、交通量の需要予測については全般的にいえることだと思うが、過大に予測している傾向があるので、きちんと予測し、それにより道路の必要性が認められなければ、建設を中止する勇気が必要。	1
①	道路による市街地形成は新たに必要はない。今からは既成市街地の再開発に重点をおくべき。	1
①	都心を中心にバリアフリーを進めていくことが、都心の周辺市街地の見本になると思う。	1
①	減少傾向にある事業費から見て、新たに都市計画決定を目指すものも、かなり規模の大きいものが含まれそうですが、これらの路線と廃止の対象とのバランスから見て新たな長期未着手路線がさらにでてくる可能性はないのでしょうか。「長期」の定義(答申PI0)と今後の道路行政をとりまく環境の動向から見て、ある程度押さえが考えられているのでしょうか。	1
①	高度経済成長期における大阪・千里ニュータウンの開発の根拠にあった考えを例にあげれば「誰も住んでいないからインフラは必要なし」というのではなく、「インフラを整備すれば、人は必ず集まる」というような発想も必要かと思う。このニュータウンの場合のインフラは阪急電鉄千里線です。	1
①	楕円形状でもよいから内外環状道路の整備。内環状道路(小倉→戸畑→八幡→小倉)、外環状道路(門司→曾根→黒崎→折尾→若松→戸畑(北部)→小倉(北部)→門司)	1
①	経済基盤として重要な役割を持つ道路、公共交通機関と一体的に整備する道路、地域の暮らしを支える生活道路等種々の道路に対し、画一的な構造ではなく、特性にあったローカルルールを設定し、道路構造の見直しを図ることも必要である。	1
①	利便性の向上と渋滞の緩和に重点を置いた道路網の構築を望みます。	1
①	次の3点を十分に議論したうえで、見直しの検討を進めて欲しい。①オールジャパン或いはグローバルな観点からみた21世紀における当該都市の果たすべき役割。②都市計画道路が持つ機能が長期的にも現在オンライズされている機能だけか(公共空間の存在価値) ③見直しに対応する目指すべき将来都市(地域社会)構想の提議(単なるコンパクト化構想では賛成しかねるが…)	1

66

2 - D

再編検討における住民参加のあり方についての意見（民意を反映する方法など）

32票

再編検討における住民参加のあり方については、今回のようなパブリックコメントを求める取り組みを評価しつつも、インターネット以外の取り組みとしてアンケート調査や出前講演等を積極的に実施し、民意を反映して欲しいという指摘を多くいただいた。今後も、積極的に民意を反映させるための取り組みを実施しながら再編検討を進めていく。

再編検討における住民参加のあり方についての主な意見（民意を反映する方法など）

- ・今後もアンケート調査などを行い、市民の意見を取り入れながら、定期的に検討していくことが必要【12人】
- ・市民の意見を可能な限り取り入れるべき【6人】
- ・インターネット以外にも、新聞や各地区への出前講演等を定期的に行って欲しい【2人】

等

2 - E

再編検討における情報開示についての意見（表現の工夫、情報公開など）

15票

再編検討における情報開示についての意見としては、次に示すように、表現をわかりやすいように工夫することや、詳細なデータについての情報公開を求める意見などが多く寄せられた。今回のパンフレットでは再編検討の大まかな方針のみを示したためにわかりにくい面もあったことから、今後は改善を図り、できるだけわかりやすい表現を用いて、根拠や理由を明確にした資料づくりに取り組んでいく。

再編検討における情報開示についての主な意見（表現の工夫、情報公開など）

- ・6分類になるまでの細かいデータも見せて欲しい【4人】
- ・なぜ未着手なのか？廃止なのか？等の理由を明確に十分整理すべき【3人】
- ・一般市民にもわかりやすい情報として公開して欲しい

等

■再編検討における住民参加のあり方についての意見（民意を反映する方法など）

意見	人数
今後も、こうした道路網計画の見直しを定期的に検討していくことが不可欠であり、その過程で大規模なアンケート調査等を行い市民の意見を取り入れながら計画していくことが都市計画道路網の計画として一番の近道（優先道路）だと思う。地域の自治会まちづくり協議会・老人会などと、事前に打合せなど、話し合いを行って欲しい。	12
見直しの段階で市民の意見を可能な限り収集して考慮して欲しい。	6
検討委員会の委員の中に建設業組合・コンサルタント（測量含む）協会等より何名か入会させ意見交換してはどうか。	3
地元説明会において、対象地区の自治会長への説明と回覧版での連絡で市民への説明責任は十分と考えられているのではないかと。一般市民が理解できるような分かりやすい説明を考慮し、インターネット以外にも新聞や各地区の自治会への出前講演を定期的に行う必要性等を考えて欲しい。	2
具体的な箇所を示して市民に広く（周辺住民・自治会など）意見を聞く。	1
市民アンケート、交通量調査等を行い、需要に対応した道路づくりを行うことが良い。	1
どの行政も財政状況が厳しい今、はっきりできるものとできないもの、優先順位を決める必要があり、そのために、住民が意見を言える仕組みや場所をつくるべきである。	1
長期未着手による建築制限に対する市民の不満や意見の状況は把握されているのでしょうか。	1
これから、この再編がどうなっているのかをホームページなどで確認していこうと思う。	1
多様性の下で利用者のニーズを適切に把握し、反映させ、社会の構築に貢献することが必要である。そのためには、臨機応変に対応できる柔軟な姿勢も必要であることである。	1
地域住民の意見と市としての意見をうまく整合させてほしい。	1
日常生活の中であまり縁のない事柄なので、一般市民には関心が薄いと思われる。検討の中で情報を提示することは必要で、関心の有無に関わらず、必要な情報は提供し続けることでよいと思うが、地区や路線や分類の中で、地域に積極的に検討を進めることにより、合意形成が図られやすい（図ったほうがよい）ものを抽出して、それに関しては町内会を通じて投げかけを行うなど、より市民の意見が反映されやすい手法の検討も必要と考えられる。	1
社会情勢と財政状況の変化を考えると、見直しは当然必要だと思います。ただ、都市計画道路自体の概念が分かり難いため、具体的なイメージがわからない部分もあります。今回の検討で、今後も必要性の高い路線はきちんと整備し、情勢変化により必要性が低くなった路線については廃止も含めた対応をすべきだとおもいます。個別に検討する路線については、地域の実情に応じて整備方針を模索する必要があると思いますが、それを検討する市民意識の高揚が大前提だと思います。	1

32

■再編検討における情報開示についての意見（表現の工夫、情報公開など）

意見	人数
「環状道路の整備」については、幹線性を考え優先度が決定するので改善できるのではないと思うが、「公共交通の利用促進、バリアフリーの増進、市街地部の交通環境の改善」等の項目については言葉で説明されても分からない。6分類になるまでの細かいデータも見せて欲しい。	4
見直しは必要と思うが、現在まで都計道として一定の規制をかけてきた訳であり、廃止する場合等、その理由は明確に十分整理すべきである（なぜ未着手なのかの理由等）。	3
市民・企業等の意見を参考にすることは好ましいが、一般市民は「将来交通量」や「交通機能からの評価」について十分に理解できないので、アンケート内容については十分に検討し、場合によっては、一般市民に分かりやすい情報として公開して欲しい。	1
道路網の機能分担において、そのことを知らない人でも道路の機能の違いがわかるくらいの差別化をして欲しい。	1
分かりやすく点線で道路の幹線性の検証を行う	1
道路の幹線性をベースに検討していますが、それをベースにした根拠を知りたいと思った。	1
地図が分かりにくい。	1
6つの課題のうち「新道路構造令への対応」は、一般には、旧道路構造令に対して何が新かですが、昭和33年の改正前後で使われるようです。以降は改正が続けられて現在にいたっていますので、運用指針P211にあるように「現行の道路構造令への対応」が適切では。	1
路線、区間、ルート、箇所という言葉の使い分け。答申とパンフでバラバラになっている。表現の統一が必要ではないか。	1
答申P19表6-2「幹線道路の機能区分の考え方」の幹線道路は幹線街路であり、表中の「道路」も街路では。運用指針P208を引用されているのなら。ただし、都市計画道路以外も含む概念のようですので（前頁の図）、一般にいう「道路の機能分類」とどう異なるのか少し工夫が必要かも。	1

15



2 - F

再編検討後の実施についての意見（早期実施、実施方法など）

17票

再編検討後の実施についての意見としては、早急な実施を望むことや、整備時期を明確にすること、今後も定期的な道路網見直しを実施すること等について意見が寄せられた。  
限られた予算、関係機関との調整など制約条件が多いものの、その中で可能な限り、そのような意見を踏まえた実施方法の実現に向けて取り組んでいく。

**再編検討後の実施についての主な意見（早期実施、実施方法など）**

- ・ 行動を素早く【8人】
- ・ 渋滞緩和と駅周辺の駐車場整備を早急に行って欲しい【2人】
- ・ 見直しは常に必要であるから、毎年検討すべきである
- ・ 整備スケジュールを明確にすべき
- ・ 道路整備では集中投資が重要

等

■再編検討後の実施についての意見（早期実施、実施方法など）

意見	人数
一つ一つの行動をすばやく行って欲しい。	2
幹線道路の渋滞緩和と駅周辺の公共駐車場の整備を早急に着手してください。	2
問題が大きい圏に一度に工事をして早く完成させ、住民に長くストレスを与えないようにして欲しい。	1
時間と税金が無駄にならないよう、早急に検討・実施を希望します。	1
新道路橋造令に対応していない区間は早めに対応していくべきだと思う。	1
道路をつくることに反対しないが、むやみにつくったり途中で中断するような曖昧な計画は立てて欲しくない。つくるのならしっかりと計画をたててつくって欲しい。	1
見直しは常に必要である。毎年検討をすべきである。	1
内閣官房主導で都市再生が推進される一方で、未着手都市計画道路の問題を単なる自治体の財政・計画プロセス問題として捉えるのは、国政のスタンスとして極めて矛盾しているとともに責任逃れとも思える。ましてや本市は政令市である。従来の負担区分にとらわれず国の方針（責務）として、一部の路線を除き、集中投資すべきと思う。	1
「この都計道付近に家を建てたいが、いつ整備されるのか」という問い合わせを受けた時、対応に困った経験がある。再編に際しては、整備予定も含め検討して欲しい。	1
都市計画道路の未着手路線について、昭和40年代の都市計画決定以来、建築の制限がかかり、地域の発展に支障をきたしている箇所があると聞く。廃止を勧める区間については、早急な検討が必要であると思う。	1
土地利用の現況・動向や幹線道路等の整備に応じた土地利用の推進が必要である。他には将来を見通した予算の決定配分が必要なのではないだろうか。一度に工事に着手するのではなく、スムーズに工事ができるよう配慮すべきだと思う。	1
役所の取り組む体制に問題があり、責任感がない。もっとしっかり取り組んで欲しい。	1
整備に時間がかかりすぎる。	1
見直しを早急に行い、早期全計画着工を望む。	1
道路周辺地区の建設規制で事業に支障をきたしている企業も多いと聞く。結論は早めに！	1